【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成17年8月18日(2005.8.18)

【公開番号】特開2002-119484(P2002-119484A)
【公開日】平成14年4月23日(2002.4.23)
【出願番号】特願2000-319330(P2000-319330)
【国際特許分類第７版】
　Ａ６１Ｂ　 5/00
　Ｇ０６Ｆ　17/60
【ＦＩ】
　Ａ６１Ｂ　 5/00　　Ｇ
　Ｇ０６Ｆ　17/60　　１２６Ｇ
　Ｇ０６Ｆ　17/60　　１２６Ｗ

【手続補正書】
【提出日】平成17年2月4日(2005.2.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
　利用者用端末装置と、該利用者用端末装置からの利用者側医療情報を受信し処理するセンター装置と、該センター装置との間で医療情報の交換を行う医師用端末装置とを備えてなり、
　前記利用者用端末装置は、生体情報を検出する生体情報検出手段と、生体情報の検出状況をモニターする手段と、検出された生体情報を含む利用者側医療情報を前記センター装置に送信する送信手段と、前記センター装置からの医療情報を受信する受信手段と、を備えており、
　前記センター装置は、利用者に係る医療情報や医師に係る情報を記憶する随時読み取り記録手段と、前記利用者側医療情報を受信する受信手段と、受信した利用者側医療情報を解析する解析手段と、解析結果に対応した判定結果を取出す手段と、解析結果に応じて選択可能な問診内容を記憶する問診内容記憶手段と、該問診内容記憶手段から選択された問診内容を取り出す手段と、前記随時読み取り記憶手段から医師を選択する手段と、判定結果及び問診内容を含むセンター側医療情報を前記利用者用端末装置及び／又は医師用端末装置に送信する手段と、を備えており、
　前記医師用端末装置は、前記センター側医療情報を受信する受信手段と、医師側医療情報をセンター装置に送信する手段、とを備えたことを特徴とする医療診断システム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項３】
　利用者用端末装置から送信された利用者側医療情報を解析して、（ａ）異常無し、（ｂ）異常が認められるが緊急を要しない、（ｃ）異常が認められ緊急を要する、の３つの判定結果を得、
　判定結果（ａ）の場合、利用者に判定結果を送信する、
　判定結果（ｂ）の場合、解析結果に対応した問診内容を取り出して、利用者に送信し、

該問診内容に対する回答を求める、
判定結果（ｃ）の場合、適当な医師を選択して診療を要請する、
また、前記問診内容に対する回答があった場合、該回答を解析して、（ａ）異常無し、（ｂ）異常が認められるが緊急を要しない、（ｃ）異常が認められ緊急を要する、の３つの判定結果を得、
判定結果（ａ）の場合、利用者に、健康上のアドバイスを付けて判定結果を送信する、
判定結果（ｂ）の場合、利用者に適当な医師を紹介し、詳しい診察を受けるよう要請する、
判定結果（ｃ）の場合、適当な医師を選択して診療を要請する、
ことを特徴とする請求項２に記載の医療診断処理方法。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
【課題を解決するための手段】
本発明者等は、上記の課題を解決するために鋭意検討の結果、生体情報による診断結果に、生体情報に応じて選択された問診内容による問診を併用することにより、簡単かつきめの細かい対応が可能になることに想到し、本発明を完成した。すなわち、本発明は、利用者用端末装置と、この利用者用端末装置からの利用者側医療情報を受信し処理するセンター装置と、このセンター装置との間で医療情報の交換を行う医師用端末装置とを備えてなり、利用者用端末装置は、生体情報を検出する生体情報検出手段と、生体情報の検出状況をモニターする手段と、検出された生体情報を含む利用者側医療情報を前記センター装置に送信する送信手段と、センター装置からの医療情報を受信する受信手段と、を備えており、センター装置は、利用者に係る医療情報や医師に係る情報を記憶する随時読み取り記録手段と、利用者側医療情報を受信する受信手段と、受信した利用者側医療情報を解析する解析手段と、解析結果に対応した判定結果を取出す手段と、解析結果に応じて選択可能な問診内容を記憶する問診内容記憶手段と、該問診内容記憶手段から選択された問診内容を取り出す手段と、前記随時読み取り記憶手段から医師を選択する手段と、判定結果及び問診内容を含むセンター側医療情報を利用者用端末装置及び／又は医師用端末装置に送信する手段と、を備えており、医師用端末装置は、センター側医療情報を受信する受信手段と、医師側医療情報をセンター装置に送信する手段、とを備えたことを特徴とする医療診断システムに関する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
緊急を要すると判定された場合、ＲＯＭ３４から適当な医師が選択され（Ｓ１７）、診察の要請が行われる（Ｓ１８）。このとき、ＲＯＭ３４から患者（緊急を要すると判定された利用者）に関する諸情報、例えば医療情報、住所、年齢、性別等も同時に取り出され送信される。医師から診察の要請を受理する旨の返信があれば（Ｓ１９）処理が終了する。ここでも、医師による診察が緊急を要するため、診察の要請の受理を以って送信の確認が行われるようになっている。